

# 平成27年度業務棚卸表(政策体系順)

評価事業コード	政策体系コード	事業類型CD	会計区分	法令の根拠区分		事業の目的と概要	担当課名
評価事業名称	政策体系名称	事業類型	法令等の名称	関連計画名			フルコスト(千円)
細事業コード	事業の対象	平成27年度事業量		平成26年度事業量		平成25年度事業量	平成24年度事業量
細事業名称		平成27年度事業量	平成26年度事業量	平成25年度事業量	平成24年度事業量		
090100-130	05-04-01	05	一般	法令に特に定めのないもの		市民が生活していける、北上市を来訪者にとって利便性の高い公共交通の体系を実現すること。市内の鉄道や路線バスなどの公共交通機関の問題等について検討、協議を行う。北上市地域公共交通会議の開催。	地域づくり課
一般交通運輸対策事業	地域の实情に応じた公共交通体系の構築	ソフト事業(任意)					5,844
090100-130-01	市民	北上市地域公共交通会議開催、北上市 自家用自動車有償運送運営協議会開 催、北上市バス路線マップ・北上市コ ミュニティバスマップ印刷		北上市バス路線マップ印刷		北上市地域公共会議 1回 北上市自家用自動車有償運送運営協 議会 1回 まちなか時刻表印刷 2回	北上市地域公共交通会議 2回 北上市自家用自動車有償運送運営協 議会 2回 まちなか時刻表印刷 2回4,000部
090100-131	05-04-01	06	一般	法令に特に定めのないもの		交通空白地域住民の通院や買い物など日常生活に必要な生活移動の足を確保する。コミュニティバス2路線運行に対し、運行経費から運賃収入を差し引いた分を、事業者へ補助金として交付	地域づくり課
コミュニティバス運行補助金	地域の实情に応じた公共交通体系の構築	負担金・補助金(任意・ソフト事業)					11,877
090100-131-01	コミュニティバス利用者	○運行路線数2(飯豊立花黒岩線、二子更木線)○補助金額10,222千円(うち岩手県電源立地地域対策交付金5,024千円)		○運行路線数2(飯豊立花黒岩線、二子更木線) ○運行日数 192日 ○延利用者数 22,380人 ○補助金額 8,734千円(うち岩手県電源立地地域対策交付金5,024千円)		○運行路線数2(飯豊立花黒岩線、二子更木線) ○運行日数 190日 ○延利用者数 23,238人 ○補助金額 7,038千円(うち岩手県電源立地地域対策交付金5,030千円)	運行路線数2(飯豊立花黒岩線、二子更木線) 運行日数 190日 延利用者数 22,122人 補助金額 7,155千円
090100-132	05-04-01	06	一般	法令に特に定めのないもの		広域的な移動の足として路線バスを確保し、地域住民の生活機能の維持確保を図る。広域生活路線を維持するための運行費補助(補助額は県及び沿線市町村)	地域づくり課
広域生活路線運行費補助金	地域の实情に応じた公共交通体系の構築	負担金・補助金(任意・ソフト事業)		北上市路線バス維持費補助金交付要綱			3,120
090100-132-01	市民	○補助路線 北上線、成田線○補助額2,744千円(うち県単補助1,372千円) ○運行回数 北上線 1日2往復(国道107号線が通行止めの期間は1日1往復) 成田線 1日3往復		○補助路線 北上線、成田線 ○補助金額 3,048千円(うち県単補助1,524千円) ○運行回数 北上線 1日2往復 成田線 1日3往復		○補助路線 成田線 ○補助金額 614千円(うち県補助307千円) ○運行回数 1日3往復	対象運行路線数 1路線 補助金額 582千円(うち県補助291千円) 輸送人数 14,183人(H23.10~H24.9)
090100-138	05-04-01	06	一般	法令に特に定めのないもの		自治協議会が主となり、それぞれの地域に住み続けられる移動の足の維持確保を図る。市はその取組みに対して運行経費の半額を補助する。地域主体の支線交通運行に対する補助金	地域づくり課
支線交通運行事業費補助金	地域の实情に応じた公共交通体系の構築	負担金・補助金(任意・ソフト事業)		北上市支線交通運行事業補助金交付要綱 北上市公共交通ビジョン			2,860
090100-138-01	地区民	○相去780千円、稲瀬528千円、口内800千円、和賀100千円、岩崎157千円、藤根193千円		○補助金交付実績(6地区) ・相去地区 500千円 ・稲瀬地区 500千円 ・口内地区 500千円 ・和賀地区 113.9千円  ・岩崎地区 188.1千円 ・藤根地区 199.7千円 計2,001千円		○補助金交付実績(6地区) ・相去地区 500千円 ・稲瀬地区 380千円 ・口内地区 500千円 ・和賀地区 66千円 ・岩崎地区 153.5千円  ・藤根地区 168.5千円 計1,768千円	○全6地区へ補助金交付 相去地区500,000円 稲瀬地区278,140円 口内地区500,000円 藤根地区109,500円 岩崎地区79,500円  和賀地区33,750円
090100-143	05-04-01	05	一般	法令に特に定めのないもの		公共交通が不便な地域に乗合タクシーを導入し、地域住民の生活の足を確保することを目的とする。	地域づくり課
支線交通運行事業	地域の实情に応じた公共交通体系の構築	ソフト事業(任意)					75

評価事業コード	政策体系コード	事業類型CD	会計区分	法令の根拠区分		事業の目的と概要	担当課名
評価事業名称	政策体系名称	事業類型	法令等の名称	関連計画名			フルコスト(千円)
細事業コード	事業の対象	平成27年度事業量		平成26年度事業量		平成25年度事業量	平成24年度事業量
細事業名称							
090100-143-01 和賀地区乗合タクシー運行事業	和賀地区住民	○週4日運行○和賀:運行回数117回、利用人数139人、岩崎:運行回数185回、利用人数280人、藤根:運行回数227回、利用人数309人		(仮) ○週4日運行 和賀: 運行回数68回、 利用人数72人  岩崎: 運行回数241回、 利用人数426人 藤根: 運行回数224回、 利用人数336人		週○週4日運行 和賀: 運行回数68回、 利用人数72人  岩崎: 運行回数241回、 利用人数426人 藤根: 運行回数224回、 利用人数336人	○運行ルート 4路線 ○運行日 週4日(仙人線は2日) ○利用者数 998人 ○地域との協議 和賀5回、岩崎4回、藤根3回
090100-143-02 稲瀬地区乗合タクシー運行事業	稲瀬地区住民	○月・水・金運行○運行回数330回、利用人数597人		(仮) ○月・水・金運行 1日7便 ○運行回数 269回 ○利用人数 398人		○平成25年4月1日、本運行開始 ○月・水・金運行 1日7便 ○運行回数 269回 ○利用人数 398人	○平成24年4月1日 試験運行開始 ・ルート 2路線 ・運行日 火、金 ・利用者数318人 ・運行回数204回 ・地域との協議 5回
090100-143-03 相去地区乗合タクシー運行事業	相去地区住民	○日曜以外運行○1日4便、○運行回数824回、利用人数1226人		(仮) ○日曜日以外運行 ○1日4便、2路線 ○運行回数 833回 ○利用人数 1,280人		○日曜日以外運行 ○1日4便、2路線 ○運行回数 833回 ○利用人数 1,280人	○平成23年10月～平成24年9月 ・試験運行 ルート 2路線(4便/日) ・運行日 日、祝日、年末年始以外 ・平成24年10月1日 本運行開始 ・利用者数1,167人 ・運行回数809回 ・地域との協議 4回
070400-343 新公共交通システム計画策定事業費補助金	05-04-01 地域の实情に応じた公共交通体系の構築	06	一般	法令に特に定めのないもの		路線再編をにらんだ実態調査、関係者協議、住民意向調査等を踏まえ、地域公共交通網形成計画・再編実施計画を策定し、計画に基づき、事業展開していく。	都市計画課
070400-343-01 新公共交通システム計画策定事業費補助金							
070400-344 地域公共交通網形成計画策定事業	05-04-01 地域の实情に応じた公共交通体系の構築	05	一般	法令に特に定めのないもの		(仮称)北上市地域公共交通網形成計画策定に係る、必要な事務事業経費を計上しようとするもの。	都市計画課
070400-344-01 地域公共交通網形成計画策定事業							
090100-137 幹線交通推進事業	05-04-02 公共交通の利用促進	05	一般	法令に特に定めのないもの		まちなかバスターミナルのバスロケーションシステム(あしあとランプ)の運用。バスの接近情報などを電子掲示板でお知らせすることで、バス利用者の利便性の向上を図る。	地域づくり課 108

評価事業コード	政策体系コード	事業類型CD	会計区分	法令の根拠区分		事業の目的と概要	担当課名
評価事業名称	政策体系名称	事業類型	法令等の名称	関連計画名			フルコスト(千円)
細事業コード	事業の対象	平成27年度事業量		平成26年度事業量		平成25年度事業量	平成24年度事業量
細事業名称							
090100-137-01 幹線交通推進事業	市民(バス利用者)	バスロケーションシステムプログラム改修業務委託 108千円		予算執行無し (補助金は国から事業者へ直接支出) 平日運行本数(北上駅前～藤根十文字間)28.8往復/日 →H26年度から事業内容修正。 H26実績は、バスロケーションシステムプログラム改修業務委託 108千円		予算執行無し (補助金は国から事業者へ直接支出) 平日運行本数(北上駅前～藤根十文字間)29.5往復/日	○平日運行本数(北上駅前～藤根十文字間)8.5往復増、計29.5往復/日 ○利用者数(H23.10～H24.9、岩手県交通報告による) ・北上駅前～横川日間 125,094人 ・北上駅前～藤根十文字 44,069人
090100-145 まちなかターミナル運営事業	05-04-02 公共交通の利用促進	05	一般 ソフト事業(任意)	法令に特に定めのないもの		公共交通利用者の利便性向上。パンフレット等の補充・整理	地域づくり課 75
090100-145-01 まちなかターミナル運営事業	公共交通利用者	パンフレット時刻表の補充7回		パンフレット・時刻表の補充9回		パンフレット・時刻表の補充10回	パンフレット・時刻表の補充12回 パンフレットスタンド状況改善1回
090100-230 岩手県空港利用促進協議会負担金	05-04-02 公共交通の利用促進	06	一般 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	法令に特に定めのないもの		航空需要の喚起を図り人・物・情報の交流を活発化させ経済発展を図る。総会、国内定期便等利用促進事業、国際チャーター便運航拡大事業、陳情・要望活動	地域づくり課 250
090100-230-01 岩手県空港利用促進協議会負担金	市民、企業、観光客	総会1回、台湾チャーター便就航		総会1回 台湾チャーター便就航		総会1回 台湾チャーター就航記念イベント	総会1回 国際チャーター便運航(台北、ホノルル、仁川、ハノイ) エアポートライナー定額キャンペーン(H24.3.25～H25.3.31) レンタカー割引キャンペーン(H24.3.25～H25.3.31) 札幌、名古屋、大阪便の増便(1便増加)
090100-327 バスロケーションシステム導入事業	05-04-02 公共交通の利用促進	05	一般 ソフト事業(任意)	法令に特に定めのないもの		多くのバス路線の起点となる北上駅前にバスの発着状況をリアルタイム表示する「あしあとランプ」モニターを設置し、利用者の利便性を向上させるとともに、JR利用者に二次交通としての誘導を図るもの。	地域づくり課 3,314
090100-327-01 バスロケーションシステム導入事業	バス利用者及びJR利用者	○まちなかターミナルに設置されているシステム・モニターの維持管理○北上駅前バスロケーションシステム1台導入		○まちなかターミナルに設置されているシステム・モニターの維持管理 ○運行時刻が変更になった場合の対応			
090100-334 高齢者公共交通利用促進事業	05-04-02 公共交通の利用促進	05	一般 ソフト事業(任意)	法令に特に定めのないもの		運転免許を返納した高齢者が、公共交通を利用しやすくするため、運転経歴証明書の交付を受けた場合に、バス・タクシー等の利用券を交付するもの。	地域づくり課
高齢者公共交通利用促進事業	市民(高齢者)						
090100-337 バス停留所待合室設置事業費補助金	05-04-02 公共交通の利用促進	06	一般 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	法令に特に定めのないもの		バス利用者が悪天候時においても快適にバス利用ができるよう、バス停留所に雨・風・雪を防ぐ待合室を設置しようとする地域等に補助金を交付するもの。	地域づくり課

評価事業コード	政策体系コード	事業類型CD	会計区分	法令の根拠区分		事業の目的と概要	担当課名
評価事業名称	政策体系名称	事業類型	法令等の名称	関連計画名	フルコスト(千円)		
細事業コード	事業の対象	平成27年度事業量		平成26年度事業量		平成25年度事業量	平成24年度事業量
細事業名称							
090100-337-01							
バス停留所待合室設置事業							
070400-342	05-04-02	05	一般	法令に特に定めのないもの		JR北上線の利用促進を図ることを目的に、自転車を中心とした利用促進を図るため、JR北上線車両への自転車持ち込みを可能とするようJRへ要望活動を行うもの。	都市計画課
JRツールド横黒(サイクルトレイン化)プロジェクト	公共交通の利用促進	ソフト事業(任意)					
070400-342-01							
JRツールド横黒(サイクルトレイン化)プロジェクト							